

春爛漫 お花見特集

ゆう遊刊



H26.5.9
vol.18
発行所
愛親福祉会

釈迦堂川沿いでお散歩
鯉のぼりも元気一杯！
😊



初夏のさくら散り
小川の流れ 笑ってゆれている
笠井幸恵



24日は春の陽気できれいな青空♪

特養

四月一八日(金)
二十四日(木)に
各ユニットごと
に須賀川市立博
物館周辺、翠ヶ丘
公園の桜散策に
行って来ました。
おやつは須賀川市内の
和菓子屋さんのおいしい
桜餅を頂きました。
初日は、肌寒い天気で
したが、満開の桜を見る
事ができました。最終日
は暖かい陽気の中、お散
歩を楽しみました。



●花曇りですが、満開でしたね●



♪お花見踊会♪



空港公園

四月一七日(木)はゆう遊館の満開の桜の前でお花見踊会。職員の手踊りを見たり、「花」を歌ったりしました。
また、四月二十一日(月)お花見ツアーで福島空港公園へ行ってきました。
この日は肌寒い天候となりましたが、公園までの車内では、皆さま話に花が咲きました。

ケア小旅行

四月一七日(木)小旅行で郡山方面へ出かけました。
朝食は、五百淵公園側にある「お食事処 石水」で期間限定お花見御膳を頂きました。
ポカポカと暖かく満開の桜を見る事ができました。楽しい小旅行となりました。



郡山市田村町東山周辺五百淵公園より大方面へと桜巡りドライブ！

デイ

ケア・デイ

行事いろいろ



出前射会

2月7日今年も須賀川弓道会様による射会を開きました。ありがとうございました。



2月3日豆まきを行い、無病息災を願いました。



おでんパーティー

1月21日ワイワイ楽しくおでんをいただきました。居酒屋気分を満喫できたでしょうか！



4月19日皆さん好きなパンを選んで召し上がっていらっしゃいました。次回もお楽しみに！！



パンバイキング



ひな祭り

3月3日皆さんで桜もちを作りました。



いちご喫茶



3月17日～20日各ユニットごとに『いちご喫茶』を開き、長いロールケーキを人数分に分け、いちごでデコレーションしました。皆さんコーヒーや紅茶の香りとともに午後の穏やかな時間を楽しんでいらっしゃいました。

特養・ショートステイ



節分

2月3日豆をまき、厄払いしました。鬼の出没に皆さん大騒ぎ！！



ひなまつり



3月3日歌や紙芝居、踊りで桃の節句をお祝いました。



ご利用者様 ものがたり



この企画はご利用者様 1人にスポットライトをあてて半生をご紹介します。



村上スミノ様

インタビュー
ケアハウス相談員 小西親子



ご紹介

大正14年2月18日(89歳)
島根県生まれ
略歴

幼少期は島根県で過ごしたのち看護師になり広島原爆時の救護班として活躍する。終戦後も看護師を続け、晩年は総副婦長を務める。現在は当施設でお元気に過ごされています。猫が大好き。

—幼少期から学生時代のお話をお聞かせください。

村上さん: 島根県益田市で生まれたのよ。女の子だったからね。母からは厳しく育てられたよ。

—将来は何になりたいと思っていましたか？

村上さん: 益田高等女学校のときは戦時中だったし、夢なんてなかったわ。

—どうして看護師さんになったのですか？

村上さん: あまり覚えてないけど、大変な時代だったからなったんだと思う。看護学校は岐阜県に行ったの。卒業して18歳で島根県の日赤病院に勤務したのよ。

—そのころも戦時中だったんですね。

村上さん: ある日、広島で特殊爆弾が投下されたから救護班として現地に向かってくれと言われたの。同じ病院から4人くらいで広島に行ったのだけれど、もう何が何だかメチャクチャで、わけ分からんよ。焼け野原のあちこちに蚊帳を立ててみんな中で避難していたの。暑いさなかだった記憶があるね…。自分たち救護班は焼け残った小学校かな、講堂の中に救護班を設置したんだけど、いつ崩れるか分からないって言われて。でもそこしかないから居たわよ。

—どれくらい広島に居たのですか？

村上さん: 1週間はいた。おにぎりを1日に1個もらえたよ。お風呂はね、ドラム缶に水を入れて火を焚いては入れたよ。ただ、危ないからって見守りしてくれる人もいたんだけど、男の人だったからねえ。でも恥ずかしいなんて言てられない状況だったわよ。

—原爆だったのは知っていたのですか？

村上さん: その時はただ特殊爆弾って聞かされて。当時原爆なんて言葉は知らなかったのよ。戦後よ、原爆だったって知ったのは。



看護師時代の様子(左)

—患者さんたちの様子などはどうだったでしょうか？

村上さん: 爆風で衣類もはだけていてね。全身やけどだったから、薬を自分たちで作って塗ったりしたわ。

—終戦後はどちらに行かれたのですか？

村上さん: 神奈川県横須賀市にある病院に長らく務めたの。

—看護師の仕事は大変だったんですか？

村上さん: すべて大変だったわよ。若い子への指導もあったしね。なにより、戦後だったから物が無くて。包帯もガーゼもなかったから、毎回洗って使っていた。今は使い捨てだからもったいないって思っちゃうわよ。

—今の生活はどうですか？

村上さん: 福島には友達もいたしね。ケアハウスも楽しかったわね。今も楽しいわよ。

—これからも宜しくお願いしますね。

村上さん: よろしくね。



青春時代の頃



自分の話も載せてほしい！とご希望の方がおりましたら職員までご連絡ください。お待ちしております。

特養にて機能訓練が始まりました。

看護課便り



足を曲げ伸ばして、拘縮がこれ以上悪化しないよう動きかけを行っています。



元気に楽しく運動をしましょう！

機能訓練が五月より本格的にスタート致しました。機能訓練とは、心や身体機能を維持、向上させることを意味します。当施設で行う機能訓練は、生活の場に合った動作や生活を豊かにするような訓練です。たとえば、痛みを軽減し、寝たきりの状態でも楽におむつ交換できることやトイレへの移乗を楽にするなど、認知症による生活上の混乱や不安を軽減させるための訓練があります。また機能訓練を楽しく行うことで生活意欲の向上や、認知症進行防止にも効果的です。機能訓練の成功には、看護師だけでなく、介護職員や相談員などの連携が必要になります。職員一同協力してご利用者が安心して生活していただけるように頑張りたいと思います。

給食課便り



間もなく梅雨入りです。食中毒に注意しましょう！



「やっつける」
しっかりと加熱しましょう。加熱不十分な肉や魚は食中毒の原因です。

「増やさない」
菌が増える前に食べましょう。また冷蔵庫で保存しましょう。

「付けない」
手や調理器具をよく洗い、食品に菌を付けないようにしましょう。

ポイントのおさらい



腸管出血性大腸菌（O-157、O-111）などの細菌による食中毒は五月〜九月にかけて多く発生します。「家庭でも食材を買う時から保存、下準備、調理、そして食べる時まで各段階で細菌やウイルスを「付けない」「増やさない」「やっつける」の予防3原則を実践しましょう。

救急対応内部研修



2月6日に須賀川消防署の方に協力をいただき、救急対応の研修会を開催いたしました。三角巾の当て方や熱傷の対応など職員一同真剣な様子で参加しました。



フィリピンの職員向け日本語教室開催



先生と生徒の皆さん



教室の風景

当施設では、フィリピンの方々も私たちと一緒に介護の仕事をしております。在日年数が二十年の方もおり、日常会話には全く問題ありませんが、専門用語となると少し難しいようです。そのため日本語教室を週一回開催して一生懸命勉強しています。みなさまの応援宜しくお願いします。

編集後記

新しい年度のスタートです。入学・出会いの季節♡
新しい職員も加わり、今後の活躍が期待されます。
そして、四月からは、消費税率、医療、介護保険料の引き上げと、出費もかさみますね。
さて、私も広報誌「ゆう遊刊」の編集メンバーに四月から加えさせて頂きました。
これからは皆様様が楽しめる記事を載せられるよう頑張ります。

広報委員 三橋真奈美



● 広報委員 ●

- 小西 秀明 「うさぎアレルギーだと判明。飼っているのに・・・。」
- 安達 昌子 「メタボ改善の為に週3回以上の運動を頑張ります」
- 根本 きくみ 「毎朝ノニジュース飲んでます。効果は??」
- 吉津 厚美 「新緑が眩しい季節になり